市ポスト

区　　小学校　　先生

横浜市小学校社会科研究会

学年部会

速　報

第　１　号

平成２９年　５月　１９日
横浜市小学校教育研究会
会長　　高　橋　　実
横浜市小学校社会科研究会
会長　　西　川　健　二
同　学年部長　　岩　羽　純　一

【提案日時】
５月　１０日（水）

【会　場】
横浜市立平沼小学校

講師　（菅田小）　橋爪　義明　校長先生
講師　（東汲沢小）中村　智　　校長先生
提案　内藤　洵　先生（富士見台小）
司会　田村　拓之先生（稲荷台小）
記録　上村　公亮先生（生麦小）

１　提案内容
「４学年部会のテーマは『子どものみとり』」

「平成２９年度研修会仮設について」
視点①子どもが社会的事象と自分とのかかわりを実感することのできる授業づくり
視点②子どもが問題意識をもち、互いに学び合い、自ら追究して解決していこうとする学習問題
視点③子どもが学んだことの意味に気付き、学んだことを学習や生活に生かそうとする単元づくり

以上、３つの視点を受け、４学年部会では、『子どものみとり』をテーマに研修会では以下の視点で検討を進めていく。

視点①子どものみとりを生かした単元構想
◎「目指す子どもの姿」に迫ることができる単元構想か？
・学習指導要領の目標や内容と、取り上げた教材との関連性
・「目指す子どもの姿」とそれを実現する単元構想

視点②子どものみとりを生かした授業
◎話合いが焦点化しているか？
・共通の話題で話し合うことができる学習問題
・立場の違いを理解して話し合う手だてとなる板書
・思考を促すための資料提示

視点③単元を通した子どものみとり
◎単元を通して、子どもがどう変容したか？
・授業記録やふり返りから分かる子どもの変容
・「目指す子どもの姿」の実現
・これからの学習との関連性

各単元での具体的な目指す子どもの姿

安全・安心	地域の消防署や警察署が、災害や事故を未然に防ぐ努力をしていることを調べることで、関係機関に従事する人々が連携して安全を守っていることに気付き、自分の生活をふり返っていく姿。
環境	飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物が処理される過程を調べることで、様々な対策や事業がたくさんの人の協力によって計画的に行われていることに気付き、自分の生活をふり返っていく姿。
先人の働き	自分たちの祖先や地域の発展に尽くした先人の工夫や努力を調べることで、その人物の業績が地域の人々の生活の向上につながっていることに気付き、自分の生活とのかかわりをふり返っていく姿。
県の特色	自分の住んでいる県の位置や特色などを調べることで、生活や産業に見られる他地域とのかかわりに気付き、自分の住んでいる県の特色を、より広い視野から考える姿。

４学年部会では、地域の人々の生活をより良くしている諸活動について調べることで、それら社会的事象の特色や相互の関連などについて考えることを通し、自分とのかかわりを実感しながら、地域に参画していこうとする子どもの姿を、目指していく。

２　協議内容(４学年部会アンケートより抜粋)

・みとりをどう生かすか、勉強したい。
・視点①の実践することのできる授業づくりについて、実感することができるのは体験的な場面や本物とふれ合える時間なのかなと思う。実感できる授業づくりについて学んでいきたい。
・視点①について深く学んでいきたい。
・特に視点②について学んでいきたい。
・子どもの思考の流れ、立場が明確になり、子どものふりかえりに活用できる板書について学んでいきたい。
・②今の子どもたちが学び合えることを目指したい。
・②話し合う手立てとなる板書
・②板書の工夫や共通の土俵になせるまでの手立て
・③“見方・考え方を働かせる”具体的な姿○○○○ということが、どんな姿なのか、具体的に集めていきたい。

(講師の先生から)
橋爪義明校長先生
・“みとり”とは、簡単に言うけれど、それをどのように行い、どう生かしていくのか、それが研究を進めていく上で大切になってくる。
・授業研は、よい授業力をつけるよい機会になる。ぜひチャレンジしてほしい。

中村智校長先生
・授業研で行ったことは、学校の財産になっていく。どんどんチャレンジしていくことが校長としても嬉しい。
・４年生は、５，６年生に比べて、子どもにとって身近な材がたくさんあり、自分が参画していける材がたくさんある。進んで社会に参画する子どもを育てる授業づくりを、是非がんばってほしい。

次回予定　平成２９年6月7日（水）１３：４０～　　会場／富士見台小学校
提案内容／「授業研究会」(研究方針共通理解のため)
提案者／内藤　洵　先生（富士見台小学校）
司会者／真島　さやか　先生（小机小学校）　　記録者／加藤　沙智子　先生（星川小学校）

（文発責　生麦小学校）上村　公亮